



Yuki ONODERA "Muybridge's Twist", No.21, charcoal, pastel, crayon, photography, collage on canvas, 304 x 209 cm, 2019

オノデラユキ Yuki Onodera

「TO Where」

会期：2020年9月8日(火) - 10月10日(土)

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間：12:00-18:00 定休日：日、月、祝日

TEL: 03-6276-6731

*オープニングレセプションは行いませんが、会期中以下の日程で作家が在廊する予定です。

2020年9月8日(火) 13時-15時頃、9月12日(土) 午後

(最新の作家在廊情報につきましては弊廊ウェブサイトまたはツイッターにてご確認ください。)

【ご来廊時のご協力につきまして】

*発熱、頭痛、咳、呼吸困難、倦怠感、嗅覚味覚異常など体調のすぐれないお客様はご来廊をお控えいただくようお願い致します。

*マスクのご着用をお願い致します。またご来廊時には入口にて手指のアルコール消毒と、非接触型体温計による検温にご協力いただくようお願いしております。

*万が一関係者などから新型コロナウイルス感染症の発症があった場合、連絡を差し上げられるよう、ご連絡先の記入をお願い致します。

*大人数での来廊はなるべくお控えください。

*混雑が発生した場合は、入場制限をすることがございますのでご了承ください。

ギャラリーでの換気のため、常時ドアと窓を開放しております。スタッフは毎日必ず検温を含む健康チェックを行い、手洗い、消毒液による殺菌をこまめに行なっております。予防対策として、マスクを着用し、ご対応させていただく場合がございます。

*弊廊ウェブサイトを随時更新して参りますので、ご確認の上ご来廊くださいますよう、お願い申し上げます。

共同開催

オノデラユキ 『FROM Where』

会期：2020年9月8日(火) - 11月29日(日)

(9/14, 10/19, 11/16 休館)

会場：ザ・ギンザ スペース

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-9-15 銀座清月堂ビル B2F

営業時間：11:00-19:00 *9月中は18:00までの時短営業となります。

TEL：03-5537-7825

www.company.theginza.co.jp/space/

Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuでは、2020年9月8日(火)より、オノデラユキの個展『TO Where』を開催いたします。

写真家・オノデラユキの個展を開催いたします。オノデラは、独学で写真技術を身に付け、作家活動をスタートさせました。1993年に渡仏し、2003年に写真集『カメラキメラ』で第28回木村伊兵衛賞、2006年にはフランスにおける最も権威ある写真賞「ニエス賞」を受賞するなど、世界的な活動を続け、現在もパリを拠点に制作活動を行っています。

写真家としてのオノデラの制作と思考は、一貫して、世界の模倣、写し、記録装置としての写真のありかたに揺さぶりをかけるような、〈写真の存在論〉〈カメラの存在論〉とも形容できる、独自の探究に捧げられてきました。オノデラの制作を振り返れば、カメラの機構、プリント、撮影行為のすべてにおいて、なんらかの造形行為、演出が重視されていることがわかります。この点においてオノデラは、記録装置とし



での写真から距離を取り、写真とカメラを、造形的なものとして捉え直していると言えるでしょう。印象派の時代、現実の克明な記録を可能にするカメラ装置の出現が、絵画の新たな造形的展開を推し進めた歴史を逆なでするように、オノデラは、カメラと写真というテクノロジーに潜在する造形的な可能性こそを拡張しようとするのです。

新作個展となる本展は、コラージュ、ペインティング、フォトグラム、ドリッピングといった行為によって、何らかの操作がなされた写真で構成されます。銀塩写真プリントも、すべてオノデラ自身によるものです。これらのシリーズは、『Darkside of the Moon』と名付けられました。たしかに存在することは知っていても、その場所からは見えない「月の裏側」。写真というメディアの探究において、認識と知覚のあわいを往還するオノデラの新作をぜひご高覧ください。

※本展は、ザ・ギンザ「THE GINZA SPACE」で開催される、オノデラの初期の代表作『古着のポートレート』ほかの作品を展覧する『FROM Where』展との同時開催となります。

■アーティスト・ステートメント

Yumiko Chiba Associatesの個展『TO Where』は、同時開催となるザ・ギンザの「THE GINZA SPACE」によるリバイバル展『FROM Where - 古着のポートレート』の四半世紀後を明らかにすべく企画された。Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku (YCA)の高密度な空間でその後の進化と分化の開花、そのキュッと詰まったエキスのようなものを鑑賞していただければと思う。それらは多様な作品群の先鋭化された断片とも言えるが、逆に少ない数であることによってクリエイティビティの流れが俯瞰できるのではないだろうか。現在制作中の新作を中心に、大作マイブリッジ・ツイスト未発表作、さらに多様な被写体とテーマの作品をちりばめた空間は濃密／高密度な展示となるに違いない。

『古着のポートレート』発表の1995年から四半世紀、私の作品は有機的に多様に進化してきた。そしてその間、写真を取り巻く環境は大きく変容した。「写真」という言葉はいったい、いつまで使用できるのだろうか？これが我々の置かれた現在の状況である。当初から私の疑問の中心は「写真」それ自身の存在とその認識、それ自体にあった。写真で何ができるのか、写真で何が試されて来たのか、などの問いを自問しながら二次元イメージに過ぎない写真を物質化させようと実験を重ねてきた。被写体もテーマもまちまちなそれらの作品群は一見唐突にも見えるだろうが、私の立ち位置から見れば各作品どうしが強く結びつけられているのである。

YCAではそれらのシリーズから、今後大きな分水嶺となるかもしれないコラージュ作品を中心に、「写真自体」をテーマにした実験性際立つ3シリーズ、そして新作『Darkside of the Moon』を展示する。

全て私自身の手による銀塩写真プリント、コラージュ、ペインティング、フォトグラム、ドリッピングで作られている。手仕事の技術としてはとりわけ珍しいものではないが、注意して見て頂きたいのはどれも自身で発明したちょっとおかしな独自の技法によって作られていること。そしてもう一つこだわっている点は、これらが一回限りの一点性のプリント作品だということ。むろん写真の写真性とは複製にあるわけだが、ここでは制作方法によってそれを敢えて壊している。

新作の『Darkside of the Moon』。テキストをいくら書いても説明は難しい。むしろ作品自身をテキストとして読んでいただきたい。今まで私の作品について何度も「反写真行為」といった言葉が発せられてきたが、この新作はその中でも最もアンチ写真となる作品だろう。キャンバスにコラージュされた、これも完全な1点限りの作品。三点セットの連作、その三点の写真には終わりが無い。それぞれのイメージの関係が循環し輪となり永遠に繰り返される。イメージという存在を否定するかのようなフィジカルな行為「ドリッピング」がその繋ぎを強固にする。コラージュされた写真同士の相反する「切断と溶解」、この繰り返しのによって我々には日常まったく見えてこない視覚と認識の裏側を見せられるような、目眩を起すような効果がありそうだ。そう、例えば我々の目からは見えない『月の裏側』を見るような、知っていても見えない存在とも言えるのだ。

Yuki Onodera, Paris, July 2, 2020

■アーティスト・プロフィール

オノデラユキ (Yuki Onodera)

1962年 東京生まれ パリ在住
1991年 第1回「写真新世紀」受賞／日本
1996年 第21回「写真批評家賞 KODAK」審査員特別賞受賞／フランス
2001年 第17回「東川賞新人作家賞」受賞／日本
2002年 「日本写真協会新人賞」受賞／日本
2003年 「木村伊兵衛賞」受賞／日本
2006年 「ニエブス賞」受賞／フランス
2011年 「芸術選奨 文部科学大臣賞」受賞／日本
2011年 「第27回「東川賞」受賞／日本



<主な個展>

- 2018 ヴァンガード・ギャラリー／上海、中国
京都写真美術館／京都
キド・プレス／東京
- 2017 ピエール・イヴ・カエール・ギャラリー／パリ、フランス
- 2016 アートバーゼル香港／Art Basel Hong Kong／香港
- 2015 ヨーロッパ写真美術館／パリ、フランス
ツァイト・フォト・サロン／東京
- 2014 国立アートセンター／ノジョン・シュル・マルヌ、フランス
ボージェスト・ギャラリー／上海、中国
2902 ギャラリー／シンガポール
- 2013 ギャラリー・ルイ・ジャンドル／パリ、フランス
- 2012 ヴァンガード・ギャラリー／上海、中国
- 2011 国立ニセフォール・ニエブス美術館／シャロン・シュル・ソーヌ、フランス
ヨッシ・ミロ・ギャラリー／ニューヨーク、アメリカ
- 2010 東京都写真美術館／東京
ソウル写真美術館／ソウル、韓国
ツァイト・フォト・サロン／東京
- 2009 ギャラリー・RX／パリ、フランス
キド・プレス／東京
- 2008 ネイリーヒト・アートセンター／ドゥドランジュ、ルクセンブルグ
北京クムサンギャラリー／北京、中国
ツァイト・フォト・サロン／東京
- 2007 レクトウール写真センター／レクトウール、フランス
クムサンギャラリー／ヘイリ・アートバレイ／韓国
ギャラリー・K／ソウル、韓国
- 2006 上海美術館／上海、中国
ギャラリー・コンラズ／デュッセルドルフ、ドイツ
ツァイト・フォト・サロン／東京
ニエブス賞 2006／ナント写真フェスティバル／メディアテーク／ナント、フランス
イメージ・デュ・ポール／オルレアン、フランス
ギャラリー・RX／パリ、フランス
- 2005 シャンブル・アヴェク・ヴェ／パリ、フランス
「オノテラユキ写真展」国立国際美術館／大阪
ギャラリー・RX／パリ、フランス
- 2004 ファン・ツェーテンダール・コレクション／アムステルダム、オランダ
クイックシルバーギャラリー／ベルリン、ドイツ
ギャラリー・RX／パリ、フランス
AFAA - フランス外務省／パリ、フランス
「関節に気をつける！」ツァイト・フォト・サロン／東京
イルテンボ／東京
- 2003 「Transvest」C・スクエア／名古屋
- 2002 「真珠のつくり方」「窓の外を見よ」ギャラリー・RX／パリ、フランス
「P.N.I.」「C.V.N.I.」エスパス ローレンスドレフィス／パリ、フランス
「Transvest」ツァイト・フォト・サロン／東京
「ミツバチ - 鏡」イルテンボ／東京
- 2001 「真珠のつくり方」ツァイト・フォト・サロン／東京
「窓の外を見よ」イルテンボ／東京
- 2000 「P.N.I.」「C.V.N.I.」テアトルグラニ県立ギャラリー／ベルフォール、フランス
- 1999 「オノテラユキ展」群馬県立近代美術館／高崎
「P.N.I.」ツァイト・フォト・サロン／東京
- 1998 「Yuki ONODERA et Son Mouvement 展」イルテンボ／東京
- 1997 「三部作展」ギャラリー・ラージ・サロモン／パリ、フランス
「古着のポートレート」テアトルグラニ県立ギャラリー／ベルフォール、フランス
- 1996 「古着のポートレート」リヨン大学／リヨン、フランス
- 1995 「DOWN・第一部 - 液体とコップ」ツァイト・フォト・サロン／東京
「DOWN・第二部 - 古着のポートレート」ガレリア・キマイラ／東京
「DOWN・第三部 - 鳥」Aki-Ex ギャラリー／東京
「古着のポートレート」フランス・モード研究所／パリ、フランス
- 1993 「白と玉」細見画廊／東京

<主なグループ展>

- 2020 「収蔵作品展 069/汝の隣人を愛せよ」展／東京オペラシティアートギャラリー／東京
「もうひとつの壁から/ハイスマルセイユ写真美術館コレクション作品」展／デボン美術館／ティルブルフ、オランダ
- 2019 「画の中のよそおい」展／栃木県立美術館
「コレクション特集展示 - ジャコメッティとII」展／国立国際美術館／大阪
「アンチ・シャンブル」展／ジョルジュ・サンク・アートセンター／北京、中国
「客体の影—知覚の空間」展／アルチザン・ロフツ・ギャラリー／ニューヨーク、アメリカ
「ポップの系譜」展／静岡県立美術館
「現代の美術 II」展／群馬県立近代美術館
- 2018 「密かに/探求の目」展／シンガポール国際写真フェスティバル／シンガポール
「美の瞬間/日本写真」展／ハイスマルセイユ写真美術館／アムステルダム、オランダ
「視覚芸術百体」展／国立国際美術館／大阪



- 「カム・バック- 写真への回帰」展/エストラヴ・ギャラリー: エスパス・ダート・コンテンポラン/トノン・レ・パン、フランス
- 「Paris・セテル・彼女たち」/ラ・ヴォワット 31・ド・マリーアンシュ・ギルミノ/パリ、フランス
- 2017 「風詠抄-譚」- 高島屋美術部創設 110 年記念展/高島屋日本橋美術画廊/東京
「動きを求めて:マイブリッジ、ロダン、オノデラユキ」展/静岡県立美術館
「コミュニケーションと孤独」展/東京都写真美術館
「アンフラマンス- 皮膜としての写真」展/群馬県立近代美術館
「Re:コレクションII 写真遠近」展/愛知県美術館
「コレクション・ハイライト+特集 光ノカタチ/光ノ景」展/広島市現代美術館
- 2016 「収蔵品展 058 ブラック&ホワイト、色いろいろ」展(寺田コレクション)/東京オペラシティアートギャラリー/東京
「日本写真一戦後から現在まで」展/サンフランシスコ近代美術館/アメリカ
「コレクターの眼」展/近代現代美術館/ストラスブール、フランス
「ル・パルー石原悦郎へのオマージュ」展/ツァイト・フォト・サロン/東京
「エキスパートの眼-現代写真」展/ニセフォル・ニエプス美術館/シャロン・シュル・ソーヌ、フランス
「表現する女たち-6 人の眼差し」展/ツァイト・フォト・サロン/東京
「エック・ホモ 現代の人間像を見よ」展/国立国際美術館/大阪
- 2015 「こどもとファッション」展/島根県立石見美術館、神戸ファッション美術館、東京都庭園美術館 巡回
「より若い世代の日本現代写真」展/ポール・ゲッティ美術館/ロサンゼルス、アメリカ
「ラ・ルネヴィテ・デ・ユートピイ」展/シャトー・ド・ルネヴィル/ロレーヌ、フランス
「木村伊兵衛写真賞 40 周年記念」展/川崎市民ミュージアム/神奈川
「写真のインパクト」展: 東川町写真コレクション展/北海道旭川美術館
「写真家の眼/版画家の眼 6つのアンソロジー」展/静岡県立美術館
「陶と光のはざまに」展/高島屋美術画廊 X/東京、大阪、京都、横浜
- 2014 「デッサン」展/ツァイト・フォト・サロン/東京
「ダンシング・ライト」展/ハイスマルセイユ写真美術館/アムステルダム、オランダ
「サイレントライト」展/高島屋美術画廊 X/東京
「5 人の写真」展/ ツァイト・フォト・サロン/東京
「エル・アリュマン」展/Art Course/Galerie Associative/ストラスブール、フランス
- 2013 「照見」展/ ヴァンガード・ギャラリー/上海、中国
「窓一写真家の視点」展/ポール・ゲッティ美術館/ロサンゼルス、アメリカ
「Vignettes : Between Light & Dark」展/2902 Gallery/シンガポール
- 2012 「写真のエステ-五のエレメント」展/東京都写真美術館/東京
「視点」展/ハイスマルセイユ写真美術館/アムステルダム、オランダ
「コレクションの誘惑」展/国立国際美術館/大阪
「百花繚乱 女性の情景」展/横須賀美術館/横須賀
- 2011 「動物の園」展/ギャラリー・フランソワーズ・パヴィオ/パリ、フランス
「ひとつとして同じ流れでない」展/ベルナル・アントニオズ・アートセンター/ノジャン=シュル=マルヌ、フランス
「アパリシオン」展/ギャル・サン・ソポール・アートセンター/リール、フランス
「第 27 回東川町国際写真フェスティバル」展/東川町文化ギャラリー/北海道
- 2010 「コレクション展 こどもの情景 こどもを撮る技術」/東京都写真美術館/東京
「第 8 回上海ビエンナーレ」展/上海美術館/中国
「身体を越えて」展/現代美術館/上海、中国
「現代の写真/写すこと・写されたもの」展/群馬県立近代美術館
「新しい美術の系譜」展/宮城県立美術館/仙台、都城市立美術館/宮崎
「ニエプス賞レトロスペクティブ」展/モンパルナス美術館/パリ、フランス
「木村伊兵衛写真賞 35 周年記念」展/川崎市民ミュージアム/神奈川
「日本週間」展/プロウ美術館/ブルカン=プレス、フランス
「境界を超えて」展/タングラム・アートセンター/上海、中国
- 2009 「So+Zo Movement」展/Bunkamura ザ・ミュージアム/東京
「Elles@centrepompidou」展/ポンピドゥー・センター国立美術館/パリ、フランス
「国際写真ビエンナーレ: 意識の風景」展/ボゴタ近代美術館/コロンビア
「見るべきものをあなたは見る: アルル写真フェスティバル」展/アルル、フランス
「インディーツェン」展/ペアー・アクチュアルアート・ギャラリー/ドレスデン、ドイツ
「ネヴァー・レイト・ザン・ベター」展/エリザベス・ファウンデーション/ニューヨーク、アメリカ
「ウォーム・アップ」展/民生現代美術館/上海、中国
「絵筆を誘惑する写真」展/オ・フォト・ギャラリー/上海、中国
「中国現代美術との出会い/日中当代芸術にみる 21 世紀的未来」展/栃木県立美術館/宇都宮、栃木
「ファス・ア・ファス」展/国立現代美術館/テッサロニキ、ギリシャ
「ブース 67f」展/ファン・ズーテンダール・コレクション/アムステルダム、オランダ
「安静・不説話」展/M50 クリエイティブ・スペース/上海、中国
「インチョン・アート・プラットホーム・オープン」展/インチョン・アート・プラットホーム/インチョン、韓国
- 2008 「コレクション 3: さまざまなる肖像」展/国立国際美術館/大阪
「無限の美」展/ホワイト・ファクトリー/上海、中国
「ヴェルティカル」展/ファン・ズーテンダール・コレクション/アムステルダム、オランダ
「ファス・ア・ファス」展/シロム・ギャラリー/バンコク、タイ
「美しきものを見し人は」展/ギャラリー・21/東京
「世界へ向かう 7つの眺め」展/タッチアート・ギャラリー/ヘイリ・アートパレイ/韓国
「写真★新世界: パリ、ニューヨーク、東京、そして上海」展/せんだいメディアテーク/仙台
- 2007 「カメラが捉えた日本」展/上海美術館/上海、中国
「対流」展/三影堂アートセンター/北京、中国
「写真: 絵画の座を奪う」展/ニセフォル・ニエプス美術館/シャロン・シュル・ソーヌ、フランス
「ファス・ア・ファス」展/アクレリ美術館/レイキャヴィク、アイスランド



- 「第7回現代美術ビエンナーレ」展/イシー・ムリノー、フランス
「日本現代アートフェスティバル」展/ヘイリ・アートバレイ/韓国
「ディ・リーベ・ツ・リヒト」展/ボッフム美術館/ドイツ
「異邦人たちのパリ 1900-2005」ボンピドゥー・センター所蔵作品展/国立新美術館/東京
「フィギュール・オブ・シンキング」展/シカゴ・カルチュアル・センター/シカゴ、アメリカ
「ウィンター」展/ギャラリー・RX/パリ、フランス
「イメージの冒険・現代写真の5人」展/日本橋高島屋美術画廊X/東京
2006 「パンチュール・ドラ・ヴィ・モデルヌ」展/ボンピドゥー・センター/パリ、フランス
「ディ・リーベ・ツ・リヒト」展/ツェレ市立美術館/ツェレ、ドイツ
「アウト・オブ・オーディナリー」展/イメージセンター/メキシコ
「コレクション4・アートの箱庭」展/群馬県立近代美術館/高崎、群馬
「ディ・リーベ・ツ・リヒト」展/ダーメンホルスト市立ギャラリー/ダーメンホルスト、ドイツ
「フィギュール・オブ・シンキング」展/マクドノフ美術館/ヤングストーン、アメリカ
「シーイング・ザ・ライト」展/カール・ソルウエイ・ギャラリー/シンシナティ、アメリカ
「タイユ・ユメーン」展/オランジェリー・ド・セナ/パリ、フランス
「ファス・ア・ファス」展/アートセンター/エディンバラ、イギリス
「ファス・ア・ファス」展/ストックホルム写真館/スウェーデン
2005 「カントサンス」展/エコール・デ・ボザール・ニーム/ニーム、フランス
「MOT アニュアル 2005-愛と孤独、そして笑い」展/東京都現代美術館
「アウト・オブ・オーディナリー」展/ララグーナ市カナリア金融金庫芸術文化ホール/カナリア諸島、スペイン
「アウト・オブ・オーディナリー」展/シルー文化センター、ランペール・ロンバル建築学院/リエージュ、ベルギー
「アウト・オブ・オーディナリー」展/ベルリン東アジア美術館/ベルリン、ドイツ
「ファス・ア・ファス」展/アートクリアル・AFAA-フランス外務省主催、他世界各国巡回
「チルドレンズ・アワー」展/ミュージアム・オブ・ニューアート/ポンティアック、アメリカ
「幻のつくば写真美術館からの20年」展/せんだいメディアテーク/仙台
「アウト・オブ・オーディナリー」展/ローマ日本文化会館/ローマ、イタリア
「アウト・オブ・オーディナリー」展/ベルリン東アジア美術館/ベルリン、ドイツ
「フィギュール・オブ・シンキング」展/リチャードEペーレー・アートセンター/グリーンキャステル、アメリカ
「写真はものの方をどのように変えてきたか・東京写真美術館コレクション」展/東京都写真美術館/東京
「カントサンス」展/ギャラリー・RX/パリ、フランス
2004 「時代を切り開くまなざし・木村伊兵衛賞の30年」展/川崎市民ミュージアム/神奈川
「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望 2004」展/森アートミュージアム/東京
「浮世—日本当代撮影」展/広東美術館/広州、中国
「ピヨンド・パラダイス」展/ギャルリー Hengevoss-Duerkop/ハンブルグ、ドイツ
「アベレントリー・ライト」展/ネイリヒト公立ギャラリー/ルクセンブルグ
「アウト・オブ・オーディナリー」展/カーサ・アジア/バルセロナ、スペイン
「ノーバディフル・ノーバディハート」展/アウラ・ギャラリー/上海、中国
2003 「木村伊兵衛賞受賞」展/ミノルタフォトスペース/東京
「木村伊兵衛賞受賞」展/ミノルタフォトスペース/大阪
「Aura」展/ギャラリー・RX/パリ、フランス
「浮世—日本当代撮影」展/オーラギャラリー/上海、中国
「写真新世紀10周年記念」展/海岸通ギャラリーCASO/大阪
「写真新世紀10周年記念」展/せんだいメディアテーク/仙台
2002 「モン・パリー—写真家たちの巴里」展/ギャラリーヴァンテアン/東京
「イリュージョン」展/ルンド文化センター/ルンド、スウェーデン
「イリュージョン」展/写真美術館/オデンツ、デンマーク
「イリュージョン」展/ヨンショーピング郡立美術館/ヨンショーピング、スウェーデン
「イリュージョン」展/ミッドラング文化センター/ティムラ、スウェーデン
「イリュージョン」展/ボムルズファブリケン文化センター/アレンドル、ノルウェー
「イリュージョン」展/フィンランド写真美術館/ヘルシンキ、フィンランド
「日本現代写真」展/ラトビア写真美術館/リガ、ラトビア
「ギャラリー・RX オープン」展/ギャラリー・RX/パリ、フランス
「衣服のパロール」展/ブルゴワンジャリュ美術館/ブルゴワンジャリュ、フランス
「建築/生体」展/ネイリヒト公立ギャラリー/ルクセンブルグ
2001 「日本写真協会賞受賞」展/富士フォトサロン/東京
「写真新世紀10周年記念」展/東京都写真美術館/東京
「イリュージョン」展/ストックホルム文化センター/スウェーデン
「第17回東川町国際写真フェスティバル」展/東川町文化ギャラリー/北海道
2000 「現代写真の系譜2」展/新宿ニコンサロン/東京
「オフ・トリエンナーレ」展/留日廣東會館/横浜
「日本の現代写真」展/ハレ現代美術センター/ドイツ
「不完全な歴史 - 日本における女流写真家 1864-1997」展/マサチューセッツ大学併設美術館/マサチューセッツ、アメリカ
1999 「日本の現代写真」展/ポーフム美術館/ドイツ
「当代日本撮影家」展/上海サンヤ写真ギャラリー/上海、中国
「日本の現代写真」展/カールスルーエ現代美術センター/ドイツ
「映像月間」展/アルペール・シャノ現代美術センター/クラマール、フランス
「ヘルテン国際写真フェスティバル」/ヘルテン、ドイツ



- 「ヴェロドローム・サイバークンスタール・パリジェンヌ」展/アトリエ E de Bary/パリ、フランス
「日本の現代写真」展/NBK (ベルリン現代美術センター)/ベルリン、ドイツ
「不完全な歴史 — 日本における女流写真家 1864-1997」展 /ヒューストン写真センター/ヒューストン、アメリカ
1998 「離れた場所」展/サンプリエスト現代美術センター/リヨン、フランス
「第2回モスクワ写真ビエンナーレ」/アート・メディア・センター - TV ギャラリー/モスクワ、ロシア
「メディアローグ - 日本の現代写真'98」展/東京都写真美術館/東京
「様式遊戯/パリ市現代美術コレクション」展/パリ市レスパス・エレクトラ/パリ、フランス
「不完全な歴史 - 日本における女流写真家 1864-1997」展 /ヴィジュアル・スタディーズ・ワークショップ/ロチェスター、アメリカ
「所与と偽り - フランス政府供託局現代美術コレクション」展/フランス国立写真センター/パリ、フランス
「コレクションによる物語る美術 - アンソロジー /本、死、モード、ジェンダー」展/栃木県立美術館/宇都宮、栃木
「水と空と地の間で」展/ギャラリー・ヴレ・レーヴ /リヨン、フランス
「ツァイト・フォト 21 周年記念」展/アートのスペース・シモダ/東京
1997 「揺れる女/揺らぐイメージ - フェミニズムの誕生から現代まで」展/栃木県立美術館/宇都宮、栃木
「第2回東京国際写真ビエンナーレ」展 (ノミネート部門日本代表参加)/東京都写真美術館/東京
1996 「ソズィ」展 ・エルベ・ミカエロフ (Hervé Mikaeloff) 企画/佐賀町エキジビットスペース/東京
「第6回・国際モード写真フェスティバル」/ピアリッツ、フランス
「第21回・写真批評家賞」展/ギャラリー・パッサージュ・ド・レッツ/パリ、フランス
「第1回・サロン・デ・アーティスト・ナチュラリスト (パリ写真月間企画)」展/フランス国立自然史博物館/パリ、フランス
「飛翔 (パリ写真月間企画)」展/ギャラリー・ピエール・ブリュレ/パリ、フランス
1993 「日本の前衛写真家」展/誠品芸文空間/台北・高雄/台湾
1992 「第1回・写真新世紀」展/P-3 art and environment/東京

<主なパブリックコレクション>

国立近代美術館・ボンビドゥーセンター、フランス/国立ニセフォル・ニエプス美術館、フランス/フランス国立現代美術コレクション、フランス/パリ市現代美術コレクション、フランス/フランス国立図書館写真コレクション、フランス/ハイスマルセイユ写真美術館、オランダ/ヒューストン美術館、アメリカ/サンフランシスコ近代美術館、アメリカ/ポール・ゲッティ美術館、アメリカ/ゲラン財団、フランス/上海美術館、中国/ソウル写真美術館、韓国/東京都写真美術館、東京/国立国際美術館、大阪/栃木県立美術館、栃木/群馬県立近代美術館、群馬/愛知県美術館、愛知/国際交流基金/川崎市民ミュージアム、神奈川/amana コレクション

■関連情報 (展覧会)

『Everywhere Photographs』 2020年9月18日 (金) -10月24日 (土)

会場：ツァイトフォトサロン (国立、東京)
〒186-0004 東京都国立市中2-2-3 3
TEL: 042-505-8838
E-mail: zf@zeit-foto.com
www.zeit-foto.com

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp
[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-18:00 [定休日] 日・月・祝日